



茶道具の ものがたり

次第が語る歴史

A Story of
Tea Ceremony Utensils
Their Journey Told Through
Their Accessories

2025年

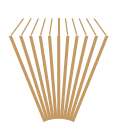
4月26日(土) ~ 7月13日(日)

〈前期〉4月26日 ~ 6月1日 〈後期〉6月4日 ~ 7月13日

休館日：月曜日(休日の場合はその直後の平日)、6月3日(火)

主催／金沢市立中村記念美術館 後援／北國新聞社 テレビ金沢 MRO北陸放送 HAB北陸朝日放送 石川テレビ

作品(左上から)：[重要美術品]《青井戸茶碗 銘雲井》朝鮮時代(16世紀)とその次第【前期展示】、青木木米《扇形梅の絵香合》江戸時代(19世紀)とその次第【前期展示】、《唐物肩衝茶入 利休小肩衝》中国・南宋・明時代(13-15世紀)とその次第【後期展示】(いずれも金沢市指定文化財)



茶道具と工芸の美術館
金沢市立中村記念美術館
KANAZAWA NAKAMURA MEMORIAL MUSEUM

〒920-0964 金沢市本多町3丁目2番29号 TEL.076-221-0751 FAX.076-221-0753
開館時間／9時30分～17時(受付は16時30分まで)
観覧料金／一般310円 団体(20名以上)260円 65歳以上210円 高校生以下無料



《釘彫伊羅保茶碗 銘花緑》
朝鮮時代(17世紀)とその次第
【前期展示】

古来、貴重な茶道具は、特別にあつらえた仕覆や箱が用意され大切に保管されてきました。茶人達の手から手へと茶道具が渡ると、新たな所有者はひと回り大きな箱や包布などを用意して、古い箱ごと大切に受け継ぎました。時には経緯を記した伝来書や譲状が添えられたり、筆跡鑑定家による折紙や極札などが加わることもあり、これらの文書類も茶道具とともに現代に伝わるものが多くあります。

このような茶道具ならではのあつかいは、茶の湯では道具はもとよりその付属品も価値が高いことを示しています。これらの付属品のことを、茶道具の次第と称します。

本展覧会では前後期で茶道具を一部入替して、次第とともに展示します。次第が語る、それぞれの茶道具が持つ歴史の一端をお楽しみください。



【金沢市指定文化財】
伝 卒翁、賛：癡絶道冲《布袋図》
中国・淳祐4-5年頃(1244-45頃)とその次第
【後期展示】



《利休在判霽》
桃山時代(16世紀)とその次第
【前期展示】



《交趾菊蟹香合》
中国・明時代(17世紀)とその次第
【後期展示】

【会期中のイベント】

ギャラリートーク

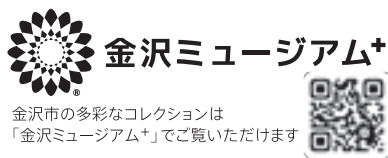
学芸員が展覧会の見どころを解説します。
開催日：5月16日(金)、17日(土)、6月13日(金)、14日(土)、
7月11日(金)、12日(土)
開催時間：14:00~15:00
費用：観覧料金

「生菓子の日」のお知らせ

館内喫茶室にて季節の生菓子和抹茶のセットをお召しあがりいただけます。数量限定、無くなり次第終了します。生菓子の終了後は通常の抹茶セット(350円)をお楽しみいただけます。
提供日：5月10日(土)、11日(日)、6月14日(土)、15日(日)、
7月12日(土)、13日(日)
利用時間：10:00~16:30
料金：600円

旧中村邸 春の一般公開

昭和3年(1928)に市内の中村家邸宅として建築され、現在地に移築後、同61年(1986)に金沢市指定保存建造物となった「旧中村邸」を一般公開します。入場無料です。
公開日：4月26日(土)~5月6日(火・振休)
※4月28日(月)休館
公開時間：10:00~16:00



金沢市の多彩なコレクションは「金沢ミュージアム+」でご覧いただけます



開館時間：9時30分~17時(受付は16時30分まで)
観覧料金：一般310円/団体(20名以上)260円/65歳以上210円/
高校生以下 無料

【交通】(駐車場20台有り)

- ・金沢駅兼六園口(東口)バス乗場から18系統「東部車庫行」「金沢学院大学行」で「本多町」下車、徒歩3分
- ・金沢駅兼六園口(東口)バス乗場から城下まち金沢周遊バスで「本多町」下車、徒歩3分
- ・金沢ふらっとバス(菊川ルート)で「ふるさと偉人館」下車、徒歩3分



茶道具と工芸の美術館

金沢市立中村記念美術館

KANAZAWA NAKAMURA MEMORIAL MUSEUM

〒920-0964 金沢市本多町3丁目2番29号
TEL.076-221-0751 FAX.076-221-0753
https://www.kanazawa-museum.jp/nakamura/

